

興道

休まず 心をこめ 力をあわせて やりとげよう

夢・チャレンジ!



浦庄小学校校長室だより
令和4年9月1日発行

カラー版は学校WEBページをご覧ください

夏休みは、ご家族で有意義な時間をお過ごしいただいたことと思います。

今年の夏休みは、新型コロナウイルス感染拡大への対応として、プール開放の中止、オンラインでの登校日、ラジオ体操やPTA奉仕作業の中止等、予定していた行事を急遽変更したり中止したりすることになりました。保護者の皆さまには、ご迷惑をおかけしたにもかかわらず、課題の提出や受け取り、行事の変更への対応など大変お世話になりました。おかげをもちまして、大きな事故もなく夏休みを終えることができました。久しぶりに見る児童の様子からもご家庭で楽しく過ごしたことがうかがわれました。

さて、徳島県や石井町でも第7波の収束が感じられない状況の中で2学期がスタートしました。浦庄幼小運動会をはじめ、延期になっていた修学旅行、人権集会や遠足など様々な行事が予定されています。また、11月25日には浦庄幼稚園・小学校を会場に、名西郡人権教育研究大会も予定されています。どの行事も児童の成長に欠かせないものと考えておりますが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、様々な行事をこれまでとは違った形で実施しなければなりません。保護者の皆様にもご無理をお願いすることも多いと思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

【始業式のお話】（「始業式で、校長先生、どんな話した？」たずねてみてください。私のつたない話を少しでも覚えていたら、目一杯褒めてあげてください。）

今、浦庄小学校に皆さんの元気な顔が戻ってきたことが、とてもうれしいです。石井町の夏祭りや徳島市の阿波踊りも3年ぶりに開催されました。行動制限がされなかったため、旅行やお出かけを楽しんだ皆さん多かったのではないのでしょうか。久しぶりに遠くの親戚の人に会うことができた人もいたことしょう。

1学期の終業式で、私からは、「ウエルビーイング(Well-being)」という言葉を紹介し、いろんなことに挑戦し、ぜひ自分で自分の「楽しみ」や「喜び」、「幸せ」をつかみ取る力をつけてほしいと話しました。どうだったでしょうか。互いの成長をお友達同士で話してみてください。

さて、今日から2学期が始まります。浦庄小学校の127人一人一人が自分の力を目一杯伸ばすことができる2学期にするために、大きく2つのお話をします。

まず、1つ目は「聴く=目と耳と心で相手の話を聴く」です。

放送が鳴ると話をやめスピーカーに体を向けて聞く習慣や授業中に友達や先生の話をしつかりと聴くなど、浦庄小学校の伝統として、これまでも大切にされてきたことです。1学期に私は皆さんの授業を参観したり、時には皆さんの学級で話をしたりすることがありましたが、本当に話を「聴く」ことができていたのか心配になることもありました。放送が流れたり、私が話をしたりしたすぐ後に、話の内容と違うことをする子や今話したことを質問する子がいたのです。時には、クラス全員が話を聴く姿勢になるまでにとっても時間がかかる様子も見かけました。2学期は、運動会を始め多くの人と一緒に活動することが多くなります。一人でも話を聴くことができていないと全体の活動が進みません。もちろんその人の力を伸ばすこともできません。「聴く」についてしっかりと頑張りましょう。

大きな2つ目です。それは、「正しく知る、正しく行動する」です。例えば、新型コロナ対策です。現在、感染状況は最悪と言ってもよいでしょう。いつ、誰が感染してもおかしくありません。どのような状況で感染するのか正しく理解することが大切です。手洗い・消毒、マスクの使用、こまめな換気など、基本的な感染対策を知っているけれど、いざ行動するとなるとどうでしょう。別の例としてスマホやタブレットの使用について考えてみましょう。毎日のようにニュースでSNSが原因のトラブルや事件が報道されます。正しい使い方を知らないことや知っているけど正しく行動ができなかったことがその原因となっていることがほとんどです。「正しく知る、正しく行動する」も頑張りましょう。

では、みんなで力を合わせ充実した2学期にしましょう。